



# 持続可能な津市の未来に向けて ～地域の拠点に施設をまとめてみんなで使う～

津市の公共施設の多くが老朽化していますが、全てをそのまま建て替えることはできません。新津市誕生10周年を迎えた今、今後の人口減少や財政状況を踏まえ、新しい時代にふさわしい公共施設のあり方について計画を策定します。

問い合わせ 財産管理課 ☎229-3126 FAX 229-3444



## 津市公共施設等総合管理計画の方向性と事例

今年度策定する津市公共施設等総合管理計画では、地域を俯瞰して面で捉え、施設の位置付けや配置を見直すこと、施設の量や機能を見直すこと、施設を有効活用して使い切ることなどの考え方を盛り込

む予定です。こうした考え方に沿った取り組みは津市や全国でもすでに始まっていますので、その事例を紹介します。今後も、世代や用途の垣根を越えて、みんなが集まり便利に使える公共施設を目指します。

### 施設の位置付けや配置を見直す

### 施設の量と機能を見直す

### 施設を使い切る



#### 地域の拠点をつくる



#### 施設をまとめる (複合化・集約化)



#### 施設をみんなで使う (共用化)

津市の  
取り組み

#### 地域の拠点として よみがえった廃校舎

幅広い世代間  
交流や活動の拠点に!



授業の様子

講座の様子

閉校した旧大井小学校を町づくり委員会と学校法人が活用。町づくり委員会は地域向けに講座や交流の場を提供し、学校法人は通信制高校を開校。

地域の行事やボランティアに生徒も参加するなど、学校と地域が連携する「まちづくりとひとづくり」の拠点に。

津市の  
取り組み

#### (仮称)津こども園整備中! 施設をまとめて機能を充実



幼保連携型認定こども園として保育園と幼稚園を一体化。使わなくなる園舎は、公民館などとして活用、または売却。待機児童の解消など多様化する保育ニーズに対応しながら、周辺の公民館などの老朽化対応や、売却益による財源確保もできる、一石三鳥の取り組み。

他市の  
事例

#### 児童が使う“公民館” 地域が使う“小学校”(立川市)

昼は小学校、放課後や休日は  
一般開放スペースに!



図書館

出典：東京都立川市

校舎 / 公民館

学校・図書館・公民館・学童保育を複合化し、学校と公民館で施設を共用。例えば、図書館は可動式の間仕切りで学校図書室と一般図書館に分け、放課後や休日は仕切りを外して一体的に利用できるなど、徹底した施設の有効活用を実現。

### パブリックコメントを募集します

津市公共施設等総合管理計画(案)を12月上旬に公表します。津市の公共施設の最適化に向け、市民の皆さんと一緒に取り組みを進めるため、皆さんのご意見をお寄せください。詳しくは広報津12月1日号をご覧ください。

